

観世音菩薩挾間西国三十三霊場現況調査

丸 野 安比古

二十六番霊場東行薬師堂

(一) 所在地 挾間町赤野一七五八 尾花加一郎氏所有地内



右上 薬師三尊像
左上 薬師堂

下 十二神将立像

(二) 管理の主体

東行自治区

(三) 祭りと行事

一年に一度薬師祭りを行っている

一月八日 東行自治区全戸参加

(四) 由来・由緒

薬師三尊像および十二神将立像(木造)

東行薬師堂の本尊は、薬師如来を中心に、向かって右に日光菩薩、左に月光菩薩を配する、いわゆる薬師三尊の形態を示している。

加えて、下段には、薬師如来の重要な眷属であるとされる十二神将がすべて揃った状態で安置されている。

薬師三尊及び十二神将は、江戸時代の作と思われるが、経年劣化が進み、部分破損も散見される。

薬師三尊及び十二神将が、すべて現存することは極めて珍しいと思われるので、大切に後世へと伝えていってほしいものである。